

形成外科医に聞く

形成外科部長 **しのかわ やすお**
篠川 靖夫



腋臭症（えきしゅうしょう）について



- ・腋臭症とは、ワキに特有の悪臭がある状態で、「わきが」とも呼ばれます。
- ・皮膚にはエクリン腺とアポクリン腺の2種類の汗腺があります。腋臭症の原因は主にアポクリン腺の分泌亢進で、性ホルモンの分泌が盛んになる思春期以降に発症します。したがって通常、小児・高齢者に腋臭症は発症しません。
- ・特有のニオイは皮膚表面の細菌の作用で生じるとされています。

【診断】

- ・腋臭症はワキに15～30分ほど挟んだガーゼに特有のニオイがあるかで判断します。
- ・ガーゼに特有のニオイがない場合、腋臭症ではありません。
- ・ニオイがあっても、まずは市販の消毒薬（ベンザルコニウム）を含んだクリームを使用してみてください。細菌が減るとニオイの改善を期待できるからです。これで改善するなら、高頻度に合併症を伴う手術治療はおすすめできません。

【治療】

- ・当科では保険適用のある手術治療をおこなっています。自由診療はおこなっていません。
- ・手術では局所麻酔下にワキの皮膚を切開して腋臭症の原因となるアポクリン腺をはさみで切除します。術後は大量のガーゼをワキに当てたり、肩・腕を動かし過ぎないなどの日常生活の制約が一定期間必要となります。
- ・アポクリン腺を全て取り去ることはできないため、ニオイを完全になくすことはできません。手術治療で十分な効果が期待できるのは周囲のヒトを不快にするニオイがある場合です。
- ・腋臭症の手術では合併症が高頻度に発生します。合併症には①血腫、②皮膚壊死、③縫合創の離開があります。

ご不明な点やご質問がありましたら、遠慮なくご相談ください。

発行 : 独立行政法人労働者健康安全機構富山ろうさい病院 地域医療連携室
富山ろうさい病院だよりは、当院ホームページにも掲載しています。
【連絡先】0765(22)1280(病院代表)
E-mail : chiiki2@toyamah.johas.go.jp

